

No.315
1997年
10月

OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル3階
電話(03)3815-3351代 Fax(03)3815-3352

●日本OR学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年OR学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞・事例研究奨励賞ソフトウェア部門を除き、平成10年1月31日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙をお早めに事務局宛にご請求ください。なお、5賞の概要は次のとおりです。

〔文献賞〕大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

- 1) 論文は独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与するものであること。
- 2) 論文はOR学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年(9年の1月1日より12月末日までに発行されたものをいう)に発表された論文であること。
- 3) 被推薦者はOR学会員で、年齢は原則として40歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

〔実施賞〕ORの実施を強く推薦してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、東亜燃料工業(株)、(株)日立製作所、中部電力(株)、兵庫県、中国電力(株)、(株)電力中央研究所、住友金属工業(株)、三菱石油(株)、川崎製鉄(株)、(株)東芝、日本電気(株)、田辺製薬(株)、(株)日通総合研究所、(株)構造計画研究所、松下電工(株)、(株)安川電機、東京ガス(株)、NTT研究開発本部、秩父小野田(株)等、企業が主な受賞者でした。

〔普及賞〕ORの普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、森村英典、後藤正夫、森口繁一、横山 保、河田龍夫、小林宏治、国澤清典、西野吉次、三根 久、松田武彦、近藤次郎、西田俊夫、梅沢 豊、齋藤嘉博、唐津 一、藤森謙一、三上 操、小田部 斎、原野秀永、千住鎮雄、依田浩、刀根 薫、松富武雄、児玉正憲、長谷川利治、御園生善尚、矢部 眞、本告光男、渡辺 浩の各氏およ

び新日本製鐵(株)、(株)富士銀行、日科技連グループ、日本IBM(株)、NTT、旧国鉄の各企業が受賞者でした。

〔事例研究奨励賞〕すぐれた事例研究に対して贈られます。個人に限らず、グループや企業も対象になります。ただし、その研究は、学会誌等、本学会において発表されたものに限り、なお、ソフトウェア部門は11月28日締切です。

〔学生論文賞〕学生による優れたORに関する研究に対して贈られるものですが、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文が対象となります。応募締切は平成10年3月31日といたしますが、詳しい募集要領は、OR誌2月号に掲載します。(表彰委員会)

●日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞(ソフトウェア部門)第13回候補ご推薦のお願い

いまやORの研究・教育・実施においてはソフトウェアが不可欠のツールとなっています。しかも、年々多数の新しいすぐれたソフトウェアが作られています。これらは、はたして、広く有効に使われて、世の役に立っているでしょうか。

本学会員の声として、ORに関連するソフトウェアを紹介し、評価し、会員に知らせてほしい、という要望がしばしば寄せられております。

学会では、このような情勢をふまえ、1985年度から優秀なソフトウェアの顕彰を実施いたしております。つきましては、今年度も下記の要領で、広く学会員から募集することになりましたので、奮ってご応募ください。

なお、本賞を、事例研究奨励賞の中のソフトウェア部門といたしましたのは、過去の事例研究奨励賞においてコンピュータ・システムの開発に対する授賞を行った実績も参考として決定したものであります。

〈募集要領〉

1. 賞の名称：日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞(ソフトウェア部門)
2. 選考の対象：ORの教育・実務において広くOR学会員に役立つもので、次のような対象を想定しております。

(1)教育用ソフトウェア

大学・企業・その他教育機関においてOR教育研修用のソフトウェア

(2)OR技術の先端的ソフトウェア

3. 応募資格：本学会の会員（個人に限らずグループや企業も対象となります）

4. 応募手続：(1)提出書類

①正会員による推薦状 1部

推薦状は学会所定の用紙とします。

②ソフトウェア機能説明書（A4判3枚以内）5部
機能説明書は学会所定の用紙とします。

③その他参考資料

Input/Outputの例、解説書等の参考資料があれば、各1部添付してください。ただし、提出の義務はありません。

(2)提出先：日本OR学会表彰委員会

(3)応募締切：平成9年11月28日(金) 必着

5. 表彰：受賞者には、OR学会総会その他適当な機会に賞牌を授与するとともに、受賞ソフトウェアの要約をOR誌に掲載して表彰します。

6. その他：(1)応募するソフトウェアは、広くOR学会員に役立つことが必要な条件であるため、一般学会員からの利用の要請を受けたときは、その便に応じることとさせていただきます。ただし、学会は、利用について仲介の労をとることはいたしませんから、当事者間で直接話し合ってください。

(2)受賞にもれたソフトウェアについても、適当なものについては、主な機能等の紹介をOR誌に行うこととします。

●平成10年度春季研究発表会

日程：平成10年5月27日(水)～28日(木) 研究発表会 29日(金)見学会(計画中) 5月27日(水)懇親会場

場所：仙台市青年文化センター（仙台市青葉区旭ヶ丘3丁目27-5）

特別テーマ：「身のまわりのORとOR教育」

平成10年度春季研究発表会は、仙台市青年文化センターを会場に開催いたします。会場は仙台駅から地下鉄で約10分、台の原森林公園に隣接した大変自然豊かな環境に恵まれた所です。

さて、このたび我がOR学会もめでたく創立40周年を経て、ますますの発展が期待されております。そこで今回の研究発表会では、OR活動のさらなる普及・発展を願い、特別テーマを「身のまわりのORとOR教

育」と設定しました。身近な話題や研究ならびに教育体験等を題材に、これからのORについて活発に議論したいと思っております。

会場の都合等により、今回新しい試みとして、研究発表の約半数をペーパーフェア形式の研究発表とすることにいたしました。そして従来のようにペーパーフェア研究発表だけの時間帯を設けるのではなく、2つのセッション（場合によっては3つのセッション）をペーパーフェア形式による研究発表として、一般研究発表と並行して同時進行させます。つまり「セッション丸ごとペーパーフェア」です。このペーパーフェア研究発表会場には、会員談話室を兼ねた、広い交流ホールを用意しました。お茶を片手にブースをひとつひとつ聞くこともできるし、研究発表を話題にじっくり議論もできます。多数の参加、研究発表を楽しみにしております。(どのセッションをペーパーフェア研究発表形式にするかは、プログラム作成時に決定いたします。発表者の方には確定次第ご連絡いたします。)

実行委員長：松田泰（東北支部長，東北電力）

参加費：正・賛助会員6,000円，学生会員2,000円，非会員10,000円

登壇料：非会員のみ2,000円/件(本学会の許可が必要)

特別講演：5月27日(水)，28日(木) (計画中)

懇親会：5月27日(水) 18時(予定)より 参加費6,000円

見学会：5月29日(金) (計画中)

発表形式：(A)特別テーマ発表 (B)一般発表 (C)部会報告 (D)ソフトウェア発表

(A)，(B)，(C)ともアブストラクトは、1件2頁とし、申し込まれた研究発表は、セッションを中心に整理しプログラムを作成いたします。したがって申し込みの発表が「講演形式」か「ペーパーフェア形式」かは、プログラム作成時に決定いたします。発表申し込者には確定次第（2月初旬頃）ご連絡いたします。なおOHP以外、ソフトウェア発表等で必要な機材は各自で調達お願いいたします。その際実行委員会（下記問合せ先）へ事前登録の連絡をお願いします。

発表申し込み締切日：1月30日(金) 消印有効（期限厳守）

発表申し込み用紙等請求先：〒113 文京区弥生2-4-16 学会センタービル3F 日本OR学会事務局
Tel. 03(3815)3351 Fax. 03(3815)3352

発表申し込み書送付先：〒980-77 仙台市青葉区川内 東北大学経済学部 安田一彦

問合せ先：〒980-77 仙台市青葉区川内
 ・東北大学経済学部 安田一彦（プログラム委員）
 Fax. 022 (217) 6321 Tel. 022 (217) 6296
 E-mail : yasuda@econ.tohoku.ac.jp
 〒020 盛岡市上田3-18-34
 ・岩手大学人文社会科学部 石川明彦（実行副委員長）
 Fax. 019 (621) 6810 Tel. 019 (621) 6806
 E-mail : ishiaki@msv.cc.iwate-u.ac.jp

●平成10年度秋季研究発表会

日 程：平成10年10月15日（木）～16日（金）
 場 所：日本大学会館
 〒102 千代田区九段南4-8-24
 （市ヶ谷駅から徒歩3分）

実行委員長：高橋磐郎（日本大学生産工学部）
 実行副委員長：大沢慶吉（日本大学生産工学部）

●研究部会・グループ開催案内

〔評価のOR〕

・第4回
 日 時：10月11日（土） 13：30～16：00
 場 所：成蹊大学資料館（吉祥寺駅下車，バス成蹊学
 園前下車，正門を入れて右側，守衛所のすぐ先，吉
 祥寺駅より徒歩20分），大会議室

テーマと講師：

- (1) 「総合評価による企業成長性の分析」
 ハイダール バイズーラ（武蔵工業大学）
- (2) 「ネットワーク型評価モデルと重要度ベクトルの
 導出について」
 八巻直一（静岡大学）

問合せ先：NTT マルチメディアネットワーク研究所
 篠原 正明
 Tel. 0442(59)2495 Fax. 0422(59)2829
 E-mail : sinohara@hashi.tnl.ntt.co.jp

〔高度情報化社会における交通・流通〕

日 時：10月17日（金） 18：00～20：00
 場 所：東洋経済新報社ビル（日本橋）
 テーマと講師：「日本，韓国，台湾，イタリアに見る
 国土の裏表」
 谷口和正（川崎製鉄株式会社）
 問合せ先：八戸英夫（工学院大学）
 Tel.03(3342)1221（内2423）

〔イノベーション〕

・第17回
 日 時：10月11日（土） 14：00～17：00
 場 所：中央区新富1-13-14 Tel. 03(3352)9131
 ワーカーズ・サポートセンター
 （旧東京都勤労福祉会館）603室
 テー マ：「イノベーションの為の人間行動」第4回
 （石田梅岩の石門心学のイノベーション）

江戸時代は，日本の文化にとっては，なかなか，面
 白い時代です。鎖国をしておりましたので，外部から
 の情報はあまり入ってこなかったようですが，一面，
 外部からの邪魔も受けずに，日本人の好みにあった文
 化を独自に開発することのできた時代で，石門心学と
 いうイノベーションもその1つです。

問合せ先：上田亀之助 Tel. 03(3351)4023
 〒160 新宿区若葉1-19-13

●会合案内

〔第172回新宿 OR 研究会〕

日 時：10月21日（火） 12：00～13：30
 場 所：レストラン・レダ（新宿センタービル53F）
 テーマ：「大転回の時代」
 講 師：唐津 一（東海大学総合科学技術研究所教
 授・OR学会フェロー・元副会長）
 参加費：3,000円

〔第173回新宿 OR 研究会〕

日 時：11月18日（火） 12：00～13：30
 場 所：レストラン・レダ 新宿センタービル53F
 テーマ：「数値制御とロボット」
 講 師：原 亨（ファナック東京事務所長）
 参加費：3,000円

〔第51回丸の内 OR 研究会〕

日 時：10月7日（火） 18：30～21：00
 場 所：学士会館（神田錦町3-28）
 テーマ：マルチチャンネル時代の到来
 講 師：ジョン・マックブライト氏（JSKYB（株）取締役
 副社長）

〔第52回丸の内 OR 研究会〕

日 時：11月12日（水） 18：30～21：00
 場 所：学士会館（神田錦町3-28）
 テーマ：「地球にやさしいビジネスの追求」

講 師：大和田順子氏 (株)インフォレスト コミュニケーション部 部長)

参加費：丸の内 OR 研究会会員 (無料) 非会員 (4,000円) 当日受付でお支払いください。ただし、参加については1週間前までにお問い合わせください。

問合せ先：トーマツ・コンサルティング(株) 山本真士
Tel.03(3457)6745

●平成10年度研究部会新設・継続申請受付

新しい部会活動のご提案を学会事務局までお寄せください。また、現在活動中の部会のうちで、来年度も継続して活動することを希望される部会の主査の方は継続の申請をしてください。締切は11月28日(金)です。部会のメンバーの公募につきましては、研究普及委員会がお手伝いいたします。

詳細につきましては次号(11月号)をご参照ください。

●懸賞論文募集

・Franz Edelman Award

主 催：informs
対 象：OR または MS に関する研究業績
賞 金：総額 \$ 15,000 1等 \$ 10,000
アブストラクト締切：10月31日(金)
問合せ先：日本 OR 学会事務局

●助成案内

・財団法人電気通信普及財団 平成9年度研究助成分 野：電気通信に関する法律、経済、社会、文化的研究調査、電気通信技術の振興・普及に関する研究調査
対 象：個人、共同研究組織、法人
応募期間：11月1日～30日
問合せ先：(財)電気通信普及財団
〒105 港区西新橋1-6-11
Tel. 03 (3580) 3411

●他学協会案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様ふるってご参加ください。

・人工生命とその応用シンポジウム (協賛)

主 催：情報処理学会数理モデル化と問題解決研究会
日 程：12月15日(月)・16日(火)
場 所：東京農工大学工学部 (東京都小金井市)
参 加 費：協賛学会会員8,000円 (論文集代を含む)
問合せ先：東京農工大学工学部 中森真理雄
Tel. 0423 (88) 7140
E-mail：nakamori@cc.tuat.ac.jp

・秋季経営情報学会シンポジウム (協賛)

テ ー マ：変わる経営環境・変わる経営技術：21世紀の企業経営 —マルチメディアが経営を変える—
日 時：11月7日(金) 13：00～17：40
場 所：電気通信大学大講堂 (東京都調布市)
参 加 費：事前申込5,000円 当日7,000円
問合せ先：経営情報学会事務局
Tel. 03 (3591) 8496

・第35回人工知能セミナー (協賛)

テ ー マ：エージェントと人工生命
主 催：人工知能学会
日 時：11月20日(木) 10：00～17：00
場 所：(株)ジャストシステム東京支社レクチャールーム (港区北青山1-2-3 青山ビルディング7F)
参 加 費：協賛学会会員18,000円(テキスト代を含む)
問合せ先：人工知能学会事務局
Tel. 03 (5261) 3401